

那古野まちづくり散策

五條橋の移り変わりでみる那古野界限

1 月 22 日（日）第 2 回目のまち歩き会があり、参加しました。

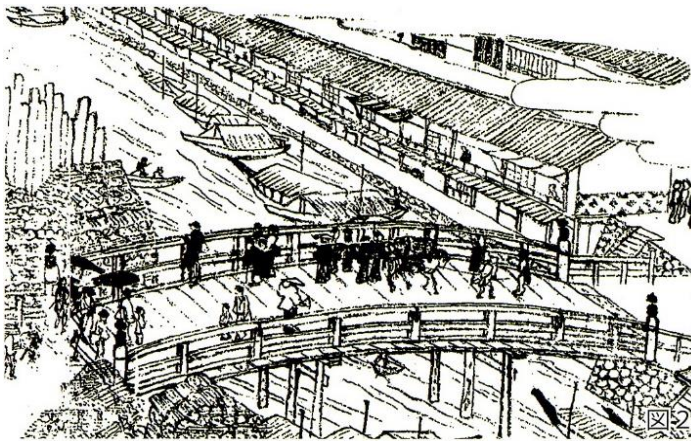
「ふれあい館えんどうじ」前に郷土史の好きな人、歩くのが好きな人など約 30 人が集合、案内人は前回と同じ柳田さんです。まず 1611 年清州越しにより堀川に架けられた五條橋の移り変わりについて詳しい説明がありました。五條橋の移り変わりが良くわかります。

橋のもとには明治 33 年から平成 3 年まで弁慶湯という銭湯があり、近隣の工場で働く人や、大相撲名古屋場所開催時には相撲取りで賑わいました。写真は説明資料から抜粋したものです。五條橋近くにはカモが群れをなしていました。東に延びる京町通は江戸時代には美濃や木曾方面からの城下への入り口になっており、多くの通行人で賑わったとのこと。

このあとは、堀川から離れ、東照宮、那古野神社、明倫館堂跡、いとう呉服店跡など本町通付近の歴史的建造物を見て、最後に江戸時代の交通の要所であった高札場跡で解散となりました。

第 3 回目は 2 月 12 日に予定されており、堀川付近を円頓寺から下るルートとのこと。

楽しみです。



江戸時代の様子



昭和 11 年 4 月の様子



現代の様子



五條橋から見たカモの群れ